



隠れたリスクの発見と患者さんとのコミュニケーションツールに

かわさき歯科医院 川崎信行先生

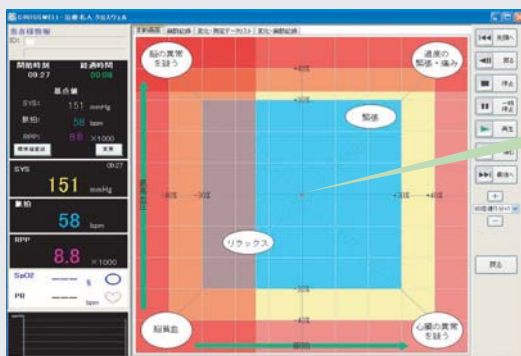
導入の最初の目的はインプラント埋入オペや、埋伏歯の抜歯などの外科手術の際の身体モニターの必要性を感じ、導入しましたが、今ではそれ以外にも、麻酔を行う場合には、ルーティンにモニタリングをするようにしています。というのも、問診時には患者さんが言わなかったような全身疾患なども、血圧を測定しながら、身体の状態についてお話をすると、いろいろおっしゃられる方が多く、問診での聞き逃しを防ぐこともでき、またそれによりその患者さんの健康観を伺うこともできるようになりました。また若くて健康な患者さんでも、モニターをとりながら処置を行うと非常に安心するという感想を戴いています。

症例

年齢 65歳 男性 主訴 右下6、7部分義歯の違和感 既往例 高血圧 喘息

処置内容 右下6、7へのインプラント埋入手術

(図1)

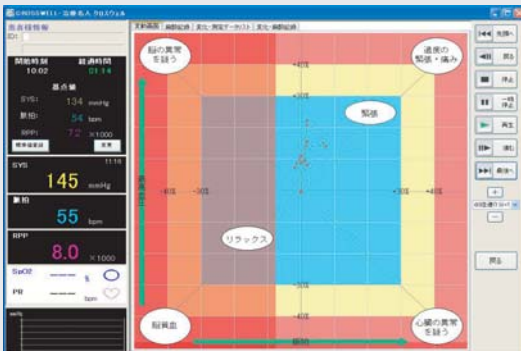


術前の口腔内の清掃もおわり、局所麻酔を行なう前に治療名人を使用して血圧を測定。(図1)

|          |        |           |          |
|----------|--------|-----------|----------|
| 最高血圧     | 脈拍     | 平均血圧      | 最低血圧     |
| 151 mmHg | 58 bpm | 12.6 mmHg | 8.7 mmHg |

少し高いために、問診をすると「今朝抗生剤を飲んでくるよう言われたのでその薬を飲んだ。そのため、降圧剤は飲んではいけないと思い、飲まなかった」とのこと。

(図2)



念のため、自宅へ降圧剤を取りに帰ってもらい、服用後、局所麻酔をしてインプラント埋入手術を終了。

(図2) SYS:最高血圧 MAP:平均血圧 DIA:最低血圧 RPP:最高血圧×脈拍

| 測定時刻     | SYS | MAP | DIA | 脈拍 | SpO2 | RPP | イベント名  |
|----------|-----|-----|-----|----|------|-----|--------|
| 10:02:58 | 134 | 110 | 78  | 54 |      | 7.2 |        |
| 10:10:54 | 164 | 133 | 93  | 55 | 96   | 9   | 局所麻酔直後 |
| 10:20:15 | 153 | 125 | 91  | 58 | 96   | 8.9 |        |
| 10:30:15 | 146 | 121 | 84  | 54 | 96   | 7.9 | オペ開始   |
| 10:40:13 | 155 | 123 | 90  | 55 | 96   | 8.5 |        |
| 10:50:15 | 144 | 112 | 86  | 53 | 96   | 7.6 |        |
| 11:00:13 | 149 | 119 | 87  | 54 | 95   | 8   |        |
| 11:10:13 | 145 | 120 | 88  | 55 | 94   | 8   |        |

もしも血圧測定しないまま手術に及んでいた場合のリスクを考えると、患者さんも安心した状態で手術に臨むことができ、治療名人を使うメリットは大きいものといえます。

かわさき歯科医院

スタッフ教育・マタニティスクールなど院外活動も積極的に実施。

待合室には歯のお手入れの仕方などを作成し掲示している。

〒851-2211長崎県長崎市京泊2丁目5-18新長ビル1F

<http://kawasakisika.com/mail.html>

